

2019 年度再入学試験問題

(文学部 哲学科 哲学専攻)

(科目名: 専門科目)

2019 年 2 月 16 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

解答は指示にある解答用紙（罫線横書き用紙もしくはマス目横書き）に分けて記入しなさい。その際、問題番号を最初に記すこと（例「Ⅱ 問1」のように）。

Ⅰ 以下の概念群の中から1つ選択して自由に論じなさい。どの概念を選んだか最初に書くこと。また内容上2つ以上の概念にまたがってもよい（字数は400字程度：マス目横書き用紙を使用）。

<概念群> 存在 認識 倫理 個人 社会 歴史 愛 信仰

Ⅱ 次の文章（1）と（2）を読んで、後の設問（問1～問4）に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(デカルト『方法序説』野田又夫・訳より抜粋)

問1 なぜデカルトは(a)のような命題に至ったのかについて、「方法的懐疑」という言葉を用いて、150字程度で答えなさい（マス目横書き用紙を使用）。

問2 下線部(b)に関して、デカルトにおける「明晰」で「判明」な認識について、簡単に説明しなさい（罫線横書き用紙を使用）。

【引用部分は削除しています】

(カント『純粹理性批判』高峯一愚・訳より抜粋)

問3 下線部(c)は、後のカントの『道徳形而上学の基礎付け』において、「傾向性」に従う行為として説明されるが、なぜこれが、道徳的にならないのか、100字程度で説明しなさい（マス目横書き用紙を使用）。

問4 下線部(d)について、こうした実践的規則に基づく行為を指示する命法（命令）は『道徳形而上学の基礎付け』の中で何といわれているか「…命法」という形で述べなさい（罫線横書き用紙）

Ⅲ 以下に掲げた用語の中から2つ選択し、簡単に説明しなさい（罫線横書き用紙を使用）。

- ①アイデア論
- ②ロックのタブラ・ラサ
- ③ルソーの自然状態
- ④カントのア・プリオリな総合的判斷
- ⑤リベラリズムとリバタリアニズム

得点